



2026年2月10日

各位

会社名 オリオンビール株式会社
代表者名 代表取締役社長 村野 一
執行役員社長 CEO
(コード番号：409A 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 コーポレートバリュー・
クリエーション本部長 土谷 徳睦
(TEL. 098-911-5232)

2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年9月25日に公表しました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想につきまして、最近の業績動向等を踏まえ、下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

1. 2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正について（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 修正の内容

(単位：百万円・%)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,106	5,520	3,945	3,788	3,306	81円01銭
今回発表予想 (B)	29,683	5,750	4,160	3,957	3,472	83円99銭
増減額 (B-A)	△422	230	214	168	166	—
増減率 (%)	△1.4	4.2	5.4	4.4	5.0	—

(2) 修正の理由

売上高については、酒類清涼飲料事業において、基幹商品であるオリオン・ザ・ドラフトが堅調に推移し、海外売上高も好調に拡大しています。一方で、業務提携先であるアサヒグループホールディングスへのサイバー攻撃に伴う機会損失の影響を完全には吸収できず、計画をやや下回る見込みです。観光・ホテル事業は、稼働率および客室単価の順調な推移により上振れ基調で推移しています。ただし、連結ベースでは、酒類清涼飲料事業の影響が残ることから、売上高は微減となる見込みです。

営業利益については、酒類清涼飲料事業において、製造工程見直しに伴う原価低減、新規設備投資に伴う省エネ化の推進に加え、好調なライセンス事業による利益貢献により、減収影響を補い増益となる見込みです。また、観光・ホテル事業においても、レベニューマネジメントの高度化による変動費抑制効果に加え、計画で想定していた台風影響が今期は発生しなかったことも追い風となり、好調な推移を見込んでおります。これら両事業における上振れに加え、全社的な業務効率化も寄与し、前回発表予想を上回る見込みです。

EBITDA、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても営業利益の増益を背景に、同様に前回発表予想を上回る見込みです。

【参考情報】

2026 年 3 月期 通期連結セグメント情報（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

（売上高）

（単位：百万円・％）

	酒類清涼飲料事業	観光・ホテル事業	全社又は消去	計
前回発表予想（A）	24,456	5,649	—	30,106
今回発表予想（B）	23,965	5,718	—	29,683
増減額（B-A）	△491	68	—	△422
増減率（％）	△2.0	1.2	—	△1.4

（営業利益）

（単位：百万円・％）

	酒類清涼飲料事業	観光・ホテル事業	全社又は消去	計
前回発表予想（A）	3,494	462	10	3,945
今回発表予想（B）	3,559	611	10	4,160
増減額（B-A）	65	149	—	214
増減率（％）	1.9	32.3	—	5.4

（注）上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上